お客様ご相談窓口

日立製品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコーセンターへ

TEL 0120－3121－68
FAX 0120－3121－87

（受付時間）9：00～19：00（365日）
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ

TEL 0120－3121－11
FAX 0120－3121－34

（受付時間）9:00～17:30（月～土）・9:00～17:00（日・祝日）
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

愛情点検

●長年ご使用の冷凍庫の点検を！

こんな現象はありませんか

- ●電源コード、プラグが異常に熱い。
- ●電源コードに深い傷や変形がある。
- ●焦げ臭いにおいがする。
- ●冷凍庫床面にいつも水がたまっている。
- ●ピリピリと電気を感じる。
- ●その他の異常や故障がある。

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店に、点検・修理をご相談ください。費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

廃棄時にご注意願います

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの冷蔵庫または冷凍庫を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

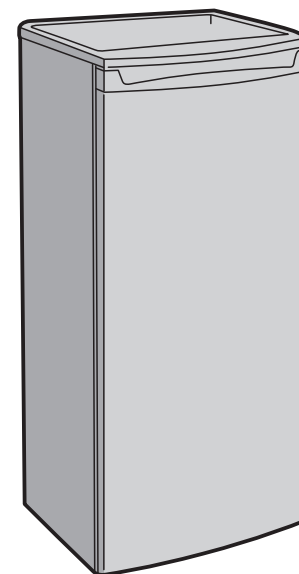
●「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
●お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
●ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社グループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
●修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

お客様メモ

型　　式	
購入店名	
	電話　（　　）
購入年月日	年　　月　　日

購入年月日・購入店名を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋 2-15-12　電話（03）3502-2111

日立業務用冷凍庫

取扱説明書

型式 RF-U11AFK
型式 RF-U11AFK-1（ハイフン・イチ）

もくじ

このたびは日立業務用冷凍庫をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この冷凍庫は**業務用**です。食品収納以外の目的にはご使用にならないでください。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。

「安全上のご注意」→ P.2～4 をお読みいただき、正しくお使いください。

お使いになる前に

■運転開始後は → P.5

・庫内が十分冷えるまでに半日以上かかる場合があります。
・大きめの運転音がしますが、異常ではありません。

保証書別添付

日本国内用
Use only in Japan

安全上のご注意

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠注意	「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例	
	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	実行していただく「指示」内容のものです。

⚠警告

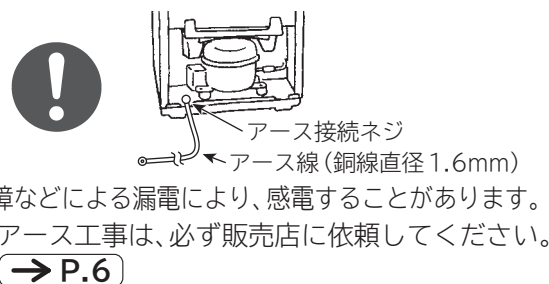
設置するとき

■湿気の多い所 水気のあるところでは アース（接地）漏電しゃ断器を取り付ける

故障などによる漏電により、感電することがあります。

● アース工事は、必ず販売店に依頼してください。➔P.6

■水のかかるところには設置しない

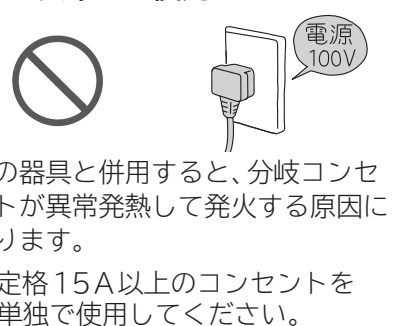
電気絶縁が悪くなり、感電や火災の原因になります。

■地震などによる転倒防止の処置をする

転倒し、けがの原因になります。➔P.6

電源や電源プラグ・コードは

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100V以外での使用はしない

他の器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱して発火する原因になります。

● 定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。

■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

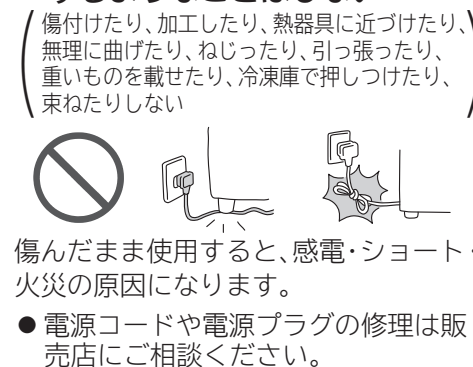
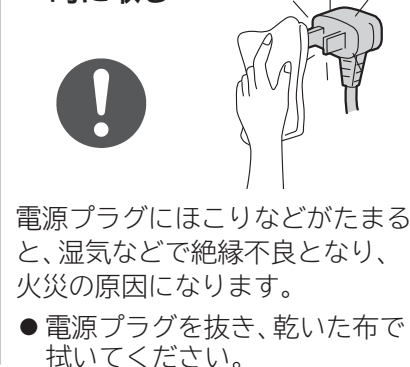
（傷付けたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、冷凍庫で押しつけたり、束ねたりしない）

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

● 電源コードや電源プラグの修理は販売店にご相談ください。

■電源プラグのほこりは定期的に取る

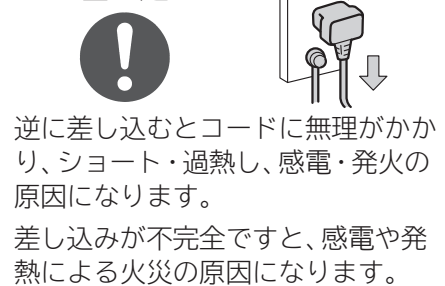
電源プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

■ぬれた手で 電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

■電源プラグはコードが下向きになるようにし根元まで確実に差し込む

逆に差し込むとコードに無理がかかり、ショート・過熱し、感電・発火の原因になります。

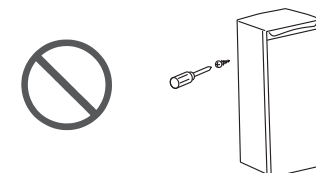
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

■冷凍庫のお手入れの際は必ず電源プラグを抜く

感電やけがをすることがあります。➔P.8

● 必ずプラグを持って抜いてください。

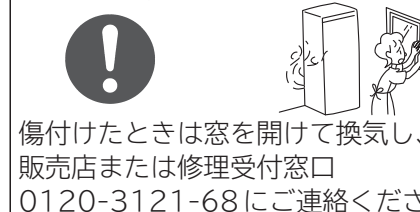
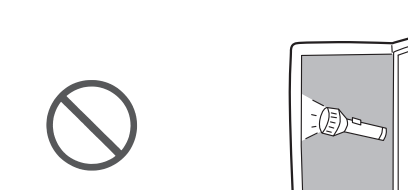
⚠警告

冷媒について（可燃性ガスを使用していますので、次のことにご注意ください。）

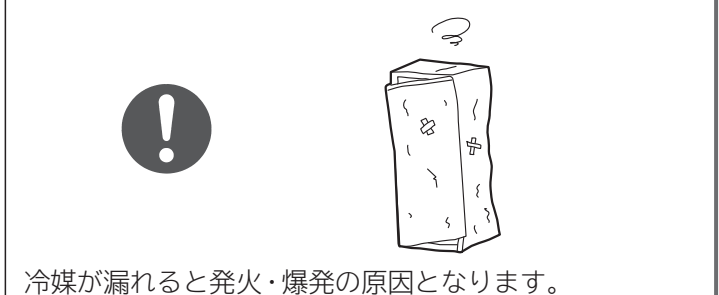
■冷凍庫本体にネジ等の鋭利なもので傷を付けない（冷媒が漏れると発火・爆発の原因になります）

■冷媒配管を傷付けたときは冷凍庫から離れ火気や電気製品の使用を避ける

傷付けたときは窓を開けて換気し、販売店または修理受付窓口0120-3121-68にご連絡ください。

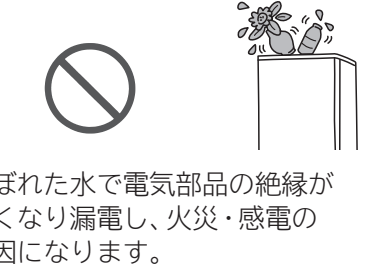
■冷凍庫の周囲はすき間をあけて設置する ➔P.6

冷媒が漏れた場合に滞留し、発火・爆発の原因になります。

■庫内では電気製品を使用しない

冷媒が漏れると、接点の火花により発火・爆発の原因となります。

■廃棄処分するときは販売店や市町村に引き渡す

冷媒が漏れると発火・爆発の原因となります。

ふだんご使用のとき

■冷凍庫の上に水を入れた容器を置かない

こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり漏電し、火災・感電の原因になります。

■電源コードは冷凍庫背面の機械部内に配線させない

電源コードの傷付き・加熱・火災の原因になります。

■薬品や学術試料を保存しない

厳しい管理の必要なものは、保存できません。

■冷凍庫の上にものを置かない

ドアの開閉などで落下し、けがをすることがあります。

■可燃性スプレーを近くで使わない

電気接点の火花で引火する危険があります。

■本体や庫内に水をかけない

電気部品の絶縁が悪くなり、感電・火災の原因になります。

■引火しやすいものは入れない

ベンジン・エーテル・ＬＰガス・シンナー・接着剤などは引火爆発する危険があります。

■ドアにぶら下がらない

倒れたり、手をはさんだりして、けがをすることがあります。

廃棄するとき

■リサイクルのときなど保管時の幼児閉じ込みが懸念される場合はドアパッキングをはずす

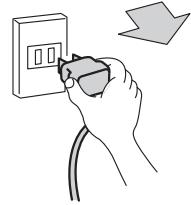
幼児が閉じこめられると危険です。

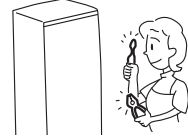
● ドアパッキングは引っ張るとはずれます。

安全上のご注意（つづき）

⚠警告

もしものとき

■製品の異常や故障のときは電源プラグを抜き 運転を中止する

感電やけがをすることがあります。

■分解・修理・改造は絶対にしない

発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

● 分解・修理が必要なときは、販売店へご相談ください。

■可燃性ガスが漏れているときは冷凍庫に触れず窓を開けて換気する

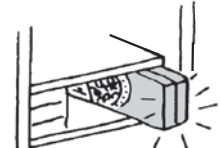
電気接点の火花で引火爆発し、火災や、やけどの原因になります。

⚠注意

ふだんご使用のとき

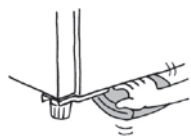
■ケースに水を入れて製氷しない

ケースが割れ、けがの原因になります。

■食品はケースより前に出さない

食品をケースより前に出すと、ドアが閉まらなかったり、食品の落下、けがなどの原因になります。

■庫内にビン類を 入れない

中身が凍って割れ、けがをすることがあります。

■冷凍庫底面に手を入れない

清掃するとき、底面に手を入れると鉄板で手を切ることがあります。

■におったり 変色した食品は食べない

腐敗により、病気の原因になることがあります。

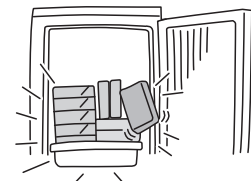
■庫内の食品や容器をぬれた手で触れない

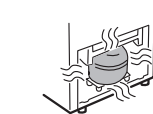
凍傷になることがあります。（特に金属製のもの）

■床が丈夫で水平なところに設置する

不安定な所に設置しますと、ドアの開閉などで冷凍庫が倒れけがの原因になります。

（詳しくは➔P.6）

■ケースをはずして使わない

食品の詰め過ぎによる食品の落下、けがなどの原因になります。

■冷凍庫背面の機械部に手を入れたり圧縮機に触れない

高温ですので、やけどやけがの原因になります。特に幼児が手を触れないように、設置場所や設置方向に注意してください。

移動・運搬のとき

■冷凍庫を運搬するときは 前脚部と天板後部を持つ

ほかの部分を持つと、手がすべって、けがの原因になります。
必ず２人以上で運搬してください。

使いはじめ

はじめに

① **庫内を清掃する**
しめらせた柔らかい布で清掃する。

② **専用コンセントに接続する**
電源100V
定格15A以上
（設置後すぐに専用コンセントに接続できます。）

③ **庫内が十分冷えてから食品を入れる**
冷凍庫の周囲の温度や食品の収納状態によって庫内が十分冷えるまでに半日以上かかる場合があります。

※運転開始後は大きめの運転音がしますが、異常ではありません。

上手な検食（検査用食品）の入れかた

1 小分けして密封
原材料・調理済み食品を食品ごとに50g程度ずつ清潔なビニール袋などに小分けして、密封保存します。
（1ケースに50gの検食を約40個収納できます）

●食品の種類や形によっても収納量が変わります。

2 1食分をまとめて
小分けした1食分の検食数個を大きめのビニール袋にひとまとめで整理します。

小分け品

1食分

●霜取り時の一時的な温度上昇を少しでも抑えることができます。

3 調理品は冷ましてから
熱いものは、他の検食の温度を上げる原因にもなります。

4 2週間分保存するには
ケース1段に2日分の検食を保存することにより、2週間分の検食保存が可能です。

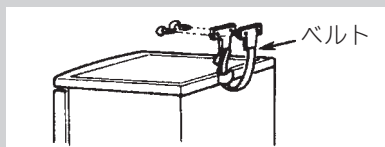
※検食サンプルは、お客様に管理していただく必要があります。
確実に検食サンプルを保存するために、定期的に食品の温度を確認することをおすすめします。
また、製品の異常や故障時にそなえ、予備機をご用意いただくことをおすすめします。

こんなときには 使いはじめ

庫内がにおう	庫内にプラスチック部品を多く使用しているためですが、十分に冷えるにしたがっておいは徐々に少なくなります。念のため、部屋の風通しをよくしてください。
ドアを開けるときしむ音がする	ドアを開けると庫内温度の変化により部品がきしみ、ピシッと音がします。また、ドアが閉まっていても同様の音がすることがありますが、異常ではありません。
プラスチック部品に、ひっかき傷のような細い線が見える	細い線はウェルドラインといい、部品の成形時に発生するものです。透明な部品について特に目立ちやすくなっていますが、強度上の問題はなく、割れに至ることはありません。

設置のしかた

万一の地震にそなえて

- 天板背面の中央に転倒防止ベルトを掛け、先端を丈夫な壁や柱に固定してください。

別売品：部品番号R-826CV−300
ネジ２本（ベルトに同梱）

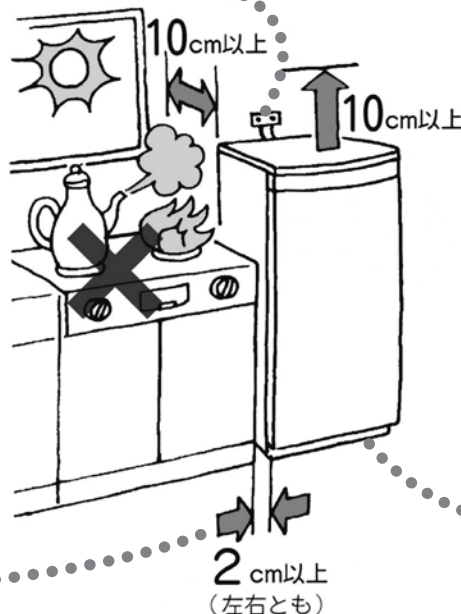
2cm以上
（左右とも）

熱気・湿気の少ないところに

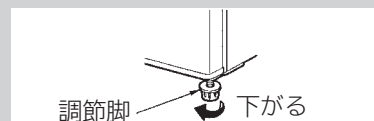
- 直射日光やガスレンジなどの熱影響を受けますと、冷却力が悪くなったりします。

※硫化ガス噴出の温泉地区等に設置する場合は、配管の防さび処理が必要となる場合がありますので、あらかじめ販売店またはTEL 0120-3121-11にご相談ください。また、ガス害による故障は保証の対象外となります。

⚠警告

- **湿気の多いところや水がかかるところに設置しない**
  絶縁劣化による感電・漏電・発火の原因になります。

適正な庫内温度を保つには、周囲に充分なすき間をとって頂き、周囲温度5～35℃でご使用ください。

床が丈夫で水平なところに

- 調節脚を矢印の方向に回して床に着け、安定させます。不安定な設置は、騒音や振動の原因になります。
- 次のような所では、厚さ1cm程度の丈夫な板を下面全面に敷いてください。
  - ・冷凍庫底面の熱により変色・変形する恐れのある、じゅうたん・畳・フローリング・塩化ビニール製の床材など。（夏場には床面が50～60℃になることがあります）
  - ・冷凍庫が傾く恐れのある柔らかい床・弱い床など。

⚠注意

- **床が丈夫で水平なところに設置する**
  不安定なところに設置しますと、ドアの開閉などで冷凍庫が倒れ、けがの原因になります。

周囲にすき間を

- 図のようにすき間をあけてください。すき間をあけませんと、放熱が悪くなり、電気代が増えたり壁材が変色したり汚れたりします。
- 蒸発皿が壁に触れますと、振動音が発生することがありますので、壁から離してください。

⚠警告

- **冷媒回路（配管）を傷付けない**
  可燃性の冷媒を使用しているため、漏れると発火・爆発の原因となります。
- **冷凍庫の周囲はすき間をあけて設置する**
  冷媒が漏れた場合、滞留し発火・爆発の原因となります。
- **電源プラグを冷凍庫の背面で押し付けない**
  電源プラグが傷つき、過熱・火災の原因となります。

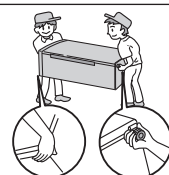
移動するときは

- 必ず電源プラグを抜いてください。
- 食品を取り出し、蒸発皿の水を捨ててください。
- 運搬するときは、前脚部と天板後部を持ってください。

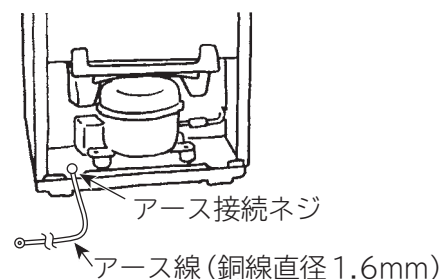
転居などで運搬するとき

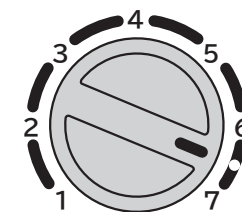
- 横積みしないでください。故障の原因になります。
- 50−60Hz（ヘルツ）共用です。

⚠注意

冷凍庫を運搬するときは、前脚部と天板後部を持つ
ほかの部分を持つと手がすべって、けがの原因になります。
必ず２人以上で運搬してください。

万一の感電防止のためにアースをおすすめします

- 湿気の多い場所・水気のある場所に設置するときはアース・漏電遮断器の取り付けを販売店にご相談ください。
- 別売品：「アース線（2.5m）」
  （部品番号 NW-60R6 052）

アース線を接続してはならないところ
- 水道管（感電の危険）
- ガス管（爆発の危険）
- 電話線や避雷針のアース（落雷のとき危険）

温度調節

必要に応じて、〈温度調節ダイヤル〉で温度を調節してください。

ふだんは“6”と“7”の中間位置でお使いください。

7	約−23～−25℃
6	約−21～−23℃
4	約−17～−19℃
1	約−11～−13℃

1 2 3 4 5 6 7
温度調節

- 表の温度は周囲温度30℃、食品を入れずにドアを閉め、安定したときの値です。
- 自動霜取り時は、一時的に温度が上がります。上がり方は食品の量により変動します。

ひとくちメモ **自動霜取りについて**（霜取り操作は不要です）

- 冷却器に付いた霜は自動的に溶けます。溶けた水は蒸発皿にたまり、自動的に蒸発します。

- 雨の日など周囲の湿度が高いとき冷凍庫の外側やドアパッキング、ドアに露が付くことがあります。乾いた布でふき取ってください。

各部の名称と働き

※ケースとケースのすき間はどのケースの間でも2cm以上です。

お願い

- 庫内にガラス製のビン類を入れないでください。中身が凍って割れることがあります。
- 天板の上には物を置かないでください。ドアの開閉などで落下し、けがをすることがあります。
- 市販の袋入り寒冷剤（硝酸、尿素を含む）は入れないでください。中身が漏れたり、白い粉が出るとさびの原因となります。
- ケースを取り出した後、庫内に戻すときは、奥に押し込みすぎたり、ほかの位置に押し込んだりしないでください。他のケースの食品が冷えにくくなったり、ケースが落下、けがなどの原因になります。
- ケースを引き出す際、途中で手をはなすと落下しますので、しっかり持って出し入れしてください。

お手入れのしかた

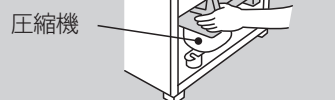
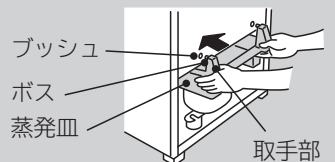
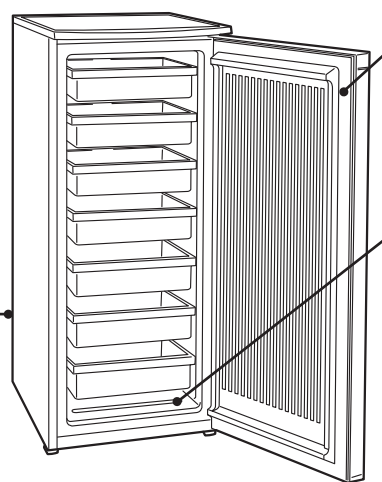
■月に１回はお手入れを。

お手入れのしかた

1. 電源プラグを必ず抜き、点検をします。
①電源コードに傷がありませんか？　②電源プラグが熱くなっていませんか？
2. やわらかい布にぬるま湯か薄めた中性洗剤を含ませてふいてください。中性洗剤でふいた後は、水ぶきしてください。
●本体や庫内に水をかけないでください。
3. お手入れ後、電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。

●不審な点がありましたら、すぐにお買上げの販売店へご連絡ください。

蒸発皿（年に1回程度）

はずして水洗いします。
蒸発皿は図のように、引き出します。

取り付けるときは、圧縮機上部のブッシュに蒸発皿取手部のボスを差し込み、蒸発皿の取手部が冷凍庫本体に当たるまで押し込んでください。

お手入れのポイント

ドアパッキング

汚れやすいところです。
下側もよくふきます。パッキングが傷むのを防げます。

汁受け

汚れや汁がたまったらふきとります。

部　品

取りはずせる部品は、水洗いできます。

⚠警告

■ **お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く。また、ぬれた手で抜き差ししない**
感電の原因になります。
■ **電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふき取る**
ほこりで電気がショートしやすくなり、火災の原因になります。
■ **電源コードや電源プラグが傷んでいたりコンセントの差し込みがゆるいときは使用しない**
感電・ショート・発火の原因になります。
■ **水をかけない**
電気部品の絶縁が悪くなり、感電・火災の原因になります。

⚠注意

■ **冷凍庫背面の機械部に手を入れたり圧縮機に触れない**
高温ですので、やけどやけがの原因になります。特に幼児が手を触れないように、設置場所や設置方向に注意してください。
■ **冷凍庫の底面に手を入れない**
冷凍庫の底面には鉄板があり、けがの原因になります。
■ **設置時やお手入れをした後に蒸発皿が正しく取り付けられているかを確認する**
正しく取り付けられていないと、除霜水が漏れ、床や壁などを傷める原因になります。

お願い

- 電源プラグを抜き、**次に差し込むときは7分以上間をおいてください。**すぐに差し込むと冷凍機の故障の原因になります。
- お手入れの際、霜や水がケースから床に飛び散ることがあります。乾いた布でふき取ってからお手入れください。
- 食品などの汁や殺虫剤がドア表面に付いた場合は、すぐふき取ってください。そのまま放置しますと、変色することがあります。
- 食用油やかんきつ類の皮に含まれている汁が付いた場合は、ふき取ってください。プラスチックが割れることがあります。
- **化学ぞうきんをご使用の際は、化学ぞうきんの注意書に従ってください。**
- **次のものは使用しないでください。塗装面や部品を傷めます。**
  ・台所用洗剤の「家庭用品品質表示法に基づく表示」の「液性」欄に、アルカリ性または弱アルカリ性と記載されている洗剤。
  （プラスチック部品が割れたりプラスチック表面を黄変させることがあります。）
  ・みがき粉・粉せっけん・石油・熱湯・たわし・酸・ベンジン・シンナー・アルコール・漂白剤など。
  （塗装面やステンレス表面、プラスチックなどを傷めたり変色させることがあります。）
- もしご不審な点がありましたら、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

お困りのときは

次のことをお調べください

全く冷えないとき
- 電源プラグが抜けていませんか？
- ヒューズやブレーカーが切れていませんか？
- 停電ではありませんか？

よく冷えないとき
- 直射日光が当たったり、近くにガスレンジなどがありませんか？
- 熱いものを入れたり、ドアをひんぱんに開けていませんか？
- 食品を詰めすぎていませんか？
- 周囲の風通しはよいですか？
- ドアパッキングと本体の間にビニール袋などがはさまっていたり、すき間があいていたりしませんか？

床面や庫内に水がたまるとき
- 蒸発皿が正しく取り付けられていますか？
- ドアが食品に当たって半開きになっていませんか？
  ドアが半開きのままお使いになりますと、冷却器から溶けた水が、背面の蒸発皿からあふれることがあります。

庫内のにおいが気になるとき
- においの強い食品を、ラップしないで入れていませんか？

音がうるさいとき
- 床がしっかりしていますか？
- 据え付けが悪く、がたついていませんか？
- 背面が壁などに当たっていませんか？
- 蒸発皿が、はずれていませんか？

これは故障ではありません

水の流れるような音や沸騰するような音（ボコボコ）がする
- これは冷凍機の中の冷媒から発生する音で、停止中も出ることがあります。ときどき、“カチッ”という温度調節装置や霜取タイマーの動作音がします。

ドアを開けた時、庫内から音（ピシッ）がする
- 庫内に暖かい空気が入り、温度変化により、部品がきしむ音です。

ドアを閉めた直後、すぐにドアを開けようとすると、ドアが重く感じる
- 庫内に入った空気が急に冷やされて、庫内の圧力が一時的に庫外より低くなるためです。１～２分お待ちください。

外側や天板に露が付く
- 雨の日など周囲の湿度が高いとき、外側や天板に露の付くことがあります。また、天板に雑誌やボックスティッシュなどを置きますと、露が付くことがあります。これはコップに冷たい水を注いだときまわりに水滴が付くのと同じです。乾いた布でふき取ってください。

庫内に霜、氷が付く
- ドアを長く開けておいたり、ドアの開閉回数が多いと水分が霜や氷となって一時的に庫内に付くことがあります。ドアを開けたときに霜や氷の溶けた水が、ケースからたれる場合があります。乾いた布でふき取ってください。

冷凍庫の前面や側面、背面が熱く感じる
- 露付防止パイプや放熱パイプを内蔵しているためです。使いはじめや夏場のドア開閉頻度が多いときは、特に背面が熱くなりますが異常ではありません。食品の貯蔵に影響ありません。

こんなときには…

■長期間使わないときは
- カビが生えたり、においがこもったりしないよう、庫内を掃除し、２～３日ドアを開けて乾燥させてください。

■停電したときは
- ドアの開閉を、できるだけ少なくしてください。
- 新しい食品の貯蔵は、庫内の温度を高くするので、避けてください。

■塗装面に傷が付いたときは
放っておくと、さびが発生しますので、早めに処置してください。

《簡単な処置方法》
- 小さな傷は、シールをはる。
- 大きな傷は、防水性のある壁紙を貼る。（さびは、紙やすりで落してから）

仕様／ノンフロン冷凍庫について

仕 様

項目		内容
型 式		RF-U11AFK・RF-U11AFK-1
種 類		業務用冷凍庫
定格内容積		112L
外形寸法		幅460mm×奥行585mm×高さ1110mm
定格電圧		100V
定格周波数		50/60Hz共用
電動機の定格消費電力	50Hz	88W
	60Hz	97W
電熱装置の定格消費電力	50Hz	110W（霜取り時）
	60Hz	110W（霜取り時）
質 量		35kg

部 品
ケース……………………………7
蒸発皿……………………………1

●「定格内容積」は、日本工業規格（JIS C9801）に基づき、庫内部品のうち冷やす機能に影響がなく、工具無しにはずせる棚やケース等を、はずした状態で算出したものです。「定格内容積」には、「食品収納スペース」と「冷気循環スペース」を含みます。
●霜取りは1日1～2回程度、1回の霜取りの時間は20～30分程度です。
●この製品は日本国内用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。またアフターサービスもできません。

ノンフロン冷凍庫について

●この冷凍庫には冷媒及び断熱材にフロンを使用せず、炭化水素（ノンフロン）を使用しています。炭化水素は、オゾン層を破壊せず地球温暖化への影響も非常に少ない、地球環境に配慮した物質です。
●ノンフロン冷媒は可燃性で、冷媒は冷媒回路に密封されており、通常のご使用で漏れ出すことはありませんが、万が一、冷媒回路を傷付けてしまった場合は、火気・電気製品の使用を避け、窓を開けて換気してください。その後、販売店または修理受付窓口「0120-3121-68」にご連絡ください。

保証とアフターサービス

（必ずお読みください）

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。なお、**食品の補償など、商品修理以外の責はご容赦ください。**

保 証 期 間

お買い上げの日から1年間です。（ただし、冷凍サイクル・庫内冷却器用ファンおよびファンモーターは、5年間です。）
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

冷凍庫の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後9年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるときは

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはTEL0120-3121-68にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは（出張修理）

9ページにしたがって調べていただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ ご連絡していただきたい内容

アフターサービスをお申しつけいただくときは、下のことをお知らせください。

項目	内容
品 名	日立冷凍庫
型 式	RF-U11AFK・RF-U11AFK-1（ハイフン・イチ）（ドア内側の銘板に記載されている型式をお知らせください。）
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お 名 前	
電話番号	（ ） －
訪問希望日	

※型式は保証書にも記載されています。

■ 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■ 修理料金のしくみ

修理料金 ＝ 技術料 ＋ 部品代 ＋ 出張料
などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれてます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。